～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
Okinawa Association of Social Workers in Health Services

MSW ニュース　9 月号(No.111)

発　行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会　広報部
編　集：大城将平（沖縄リハビリテーションセンター病院）
事務局：沖縄県総合福祉センター　西棟 2 階　小規模団体室
〒903-8603　那覇市首里石嶺 4 丁目 373-1
TEL；準備中　　FAX；098-893-1221
E メール；jim.msw.oaswhs@gmail.com

今年度より郵送は終了しています

目　次

・各部会からのお知らせ　・・・p2～3
・「ゆたしく うにげ～さびら」・・・p４～５
・理事会議事録　・・・p６～８

＜ 休 載 ＞
・新入会員紹介
・研修報告
・自主勉強会報告
・トピックス（タイムス「コラム」、新報「福祉の窓」）
・入退院支援連携デザイン事業報告

各部会からのお知らせ

****

【 研修部 】

研修部たより

■自主勉強会 めだかの学校（対象者：おおむね実務経験３年未満）

開催日時	7 月 29 日(木)19 時～
内容	令和 3 年度の活動について
場所	ZOOMミーティング
参加人数	11 名
次回開催日	9 月 9 日(木) 18 時 30 分～
次回開催内容	仮)身寄り問題を抱えている患者さんに対して 困っていること/行っている支援/活用出来る制度等 仮)がん患者さんへの退院支援
問合せ先	大浜第二病院/謝敷 ハートライフ病院/佐平 那覇市立病院/永井

■自主勉強会 めだかのホームルーム（対象者：おおむね実務経験４年以上）

開催日時	2021 年 7 月 13 日
内容	事例検討(担当:嶺井第一病院 井上、又吉)
場所	ZOOM
参加人数	5 人
次回開催日	2021 年 9 月 14 日 18 時 30 分～
次回開催内容	事例検討(担当:沖縄赤十字病院 兼濱)
問合せ先	沖縄赤十字病院 兼濱 098−853−3134(代表)

■2021 年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修（A 研修・B 研修）

対象	実務経験 3 年以下の者
日時	A 研修 2021 年 9 月 5 日 B 研修 2021 年 9 月 26 日･10 月 31 日･11 月 14 日
参加方法	【申し込みフォーム】https://forms.gle/j2CUd7kAqeHXxF1J9
参加費	会員 :無料 ※当日までに入会完了していること(年会費 6 千円、入会金なし) 非会員 :各研修1科目につき 3000円
申込〆切	申込〆切 :A 研修(1日間) 8月27日(金)正午 :B 研修(3日間) 9月17日(金)正午
備考	概要は、協会ホームページをご覧ください

問い合わせ	沖縄県医療ソーシャルワーカー協会研修部 （琉大病院がん相談支援センター大久保）

＜その他＞

■研修部ミーティングを定期開催しています。

研修部に関心のある会員は、琉大病院・大久保までご連絡お待ちしています!!。

❁その他

九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリ from 九州医療ソーシャルワーカー協議会」更新中！

こちらの QR コードからご覧になることができます

2021 年 8 月 18 日

研修部　大久保

【 広報部 】

新企画検討中　アイデアも随時募集中!!

巻末の**「協会公式 LINE 加入のご案内」**をご覧ください。

【 社会活動部 】

特にありません。

ゆたしく うにげ～さびら

****

中部協同病院　地域連携室　島袋究

****

1.当院について（病院ホームページより）

中部協同病院は、沖縄医療生活協同組合の出資金と地域の皆さまの協力によって 1987 年に「わったー病院」として開院しました。「ひとりびとりはみんなのために、みんなはひとりびとりのために」という支え合う心や思いやりの心を大切にして活動してきました。これからも組合員や地域の皆さまに信頼され、利用しやすい病院をめざします。

当院は急性期医療と急性期後の受け皿としての亜急性期医療を担い、急性期病院、慢性期病院、在宅復帰へ向けて診療所、介護・福祉事業所との橋渡し的な役割を果たしています。

また当院は在宅療養支援病院として、地域の在宅医療を担う医療・介護期間の皆さまとも連携を深め、地域へ貢献できるよう日々取り組んでいます。

・病床数：114 床（6 階地域包括ケア病棟 34 床、5 階地域包括ケア病棟 34 床 4 階一般病床 30 床および地域包括ケア入院医療管理 16 床）

・沖縄協同病院、とよみ生協病院と同じく、「無料低額診療事業」を行っております。

2.地域医療連携室について

当院の地域医療連携室には、ソーシャルワーカーが 4 人、看護師 1 人、事務 1 人の計 6 人が在籍しております。

医療や介護などのご相談の際には、地域医療連携室をご利用頂ければと思います。

また近隣の医療機関や行政機関、介護・福祉事業所など関係機関の皆さまには日頃から大変お世話になっております。今後とも宜しくお願い致します。

****

中頭病院・ちばなクリニック　医療相談室　秦　克之

****

＜社会医療法人敬愛会について＞

社会医療法人敬愛会は、一．良質な医療を地域に提供、一．ホスピタリティ精神に徹する、一．経営基盤の安定化、一．職場は学びと創造の場を理念に、沖縄市登川に中頭病院、沖縄市知花にちばなクリニックを運営しています。法人名の由来は、“敬天愛人”という言葉で、明治維新に活躍した西郷隆盛が好んでよく使ったと言われています。その想いも込めて、ロゴマークも一新しました。

中頭病院は、一般病床 355 床（HCU16 床・ICU12 床）で、（1）救急医療体制の充実、（2）高度急性期医療の推進、（3）集学的がん治療の構築をコンセプトに入院を中心とした高度急性期医療を行っています。

ちばなクリニックは、予防から治療そして介護までの“つながり”を充実させ、一人一人に見合った“くわしい答え”を導き出し、世紀を越えて続く医療を目指し、“やさしさと奉仕の心”で動いていくことをコンセプトにしています。

（中頭病院・ちばなクリニックHPより抜粋、ご覧になってください）

＜医療相談室について＞

医療相談室は、中頭病院に 7 名（男性 4 名、女性 3 名）、ちばなクリニックに 1 名（男性 1 名）で相談援助を担っており、退院支援に関しては入退院管理室（退院支援看護師 5 名）と連携しながら支援を行っています。

秦室長を筆頭に、経験年数や個性も様々なスタッフが、患者様やご家族に向き合い、寄り添いながら、より良い療養が継続できるよう日々奮闘しています。チームの“和”を大事にしながら、ラダーシステムを取り入れての教育体制を整えたり、統計システムにも力を入れています。コロナ禍で、さらに医療現場が逼迫している状況ですが、みなさま心身ともに大事にしながら頑張っていきましょう。

理 事 会 議 事 録

****

2020年度　沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2021 年 08 月 16 日（月）19:00～20:45

場所：＠zoom

****

【出席者】新垣会長(司会)、秦副会長、當銘副会長、安慶名副会長、伊禮事務長、樋口
石郷岡、大久保、長、小橋川（書記）、香村、井上（連絡）、山城
宮城（オブザーバー）

【委任者】奥平、高江洲

＜各部報告・協議事項＞

〔研修部〕

① 初任研について報告を受けました。（担当：大久保）

ZOOM 操作に慣れる事などを目的に参加者向け ZOOM 接続テストを実施します。

1回目：9/2（木）18:00～19:00　2回目：9/4（土）14:00～15:00

② 中堅者研修について報告を受けました（担当：池間）

・2022 年 2 月頃に ZOOM 開催を予定します。 引き続きテーマを検討。

③ 自主活動について報告を受けました。

・めだかのホームルーム（担当：兼濱）

7月 13 日に事例検討（ZOOM）を行いました。 次回9月14日　事例検討予定。

・めだかの学校（担当：謝敷）

7月 29 日に開催し今年度の活動内容について話し合いました。（参加者11名）

3月に事例検討会を予定します。次回は9月9日　がん患者さんへの退院支援（予定）

④九州協議会関連事業研修部について報告を受けました。（担当：香村）

1、キャリアラダー第1版完成（九州 MSW 協会）

本ラダー作成の目的は、各県教育研修部が研修企画をする際に、キャリアを意識して作成することで、九州 MSW 全体の質の担保を図ることであり、教育向けに作成。

①ラダー冊子の管理について

本年度は、教育研修部が中心となって管理

各県教育研修部の企画運営に携わる部員でおこなう。引用、転載は禁止。

②ラダーの周知について

宮崎大会で15分の枠を頂戴し、説明の時間をもうけていただいた。

また、教育研修部にて理事等へ説明をおこなっていく。

2、中堅者研修（九州）

中堅者研修は宮崎大会と別日程で開催。テーマはスーパービジョンで決定。

④ 全体スケジュール確認（担当：井上、又吉）

次回 MTG 10 月12日（火）18：30 ZOOM 予定

〔広報部〕 以下、報告を受けました。

□MSW ニュース 9 月号（編集；沖縄リハビリテーションセンター病院 大城さん）

□協会公式 LINE 加入者数：136 名（8/13 現在）

□協会ホームページアクセス数 7 月；1,279 件）（6 月；1,413 件）

アクセス割合 PC；48% スマートフォン；52%

〔社会活動部〕 以下、報告を受けました。

□ 福祉の窓：名簿の見直しを予定 。

□ ソーシャルワーカー協会：開催は昨年同様オンライン研修。

〔事務局〕 以下、報告を受けました。

□入退会報告

入 会 届 ： 0人

所属先変更： 0人

退 会 届 ： 0人

□ 現況調査実施方法について

調査方法について意見交換を行いました。

□ 外部講師の謝礼金、交通費について：今年はオンライン開催のため当日の移動がなければ交通費の支給は無いと確認しました。※ケースによっては必要に応じて協議を行います。

＜その他 報告協議事項＞

□入退院支援連携デザイン事業について報告を受け意見交換を行いました。

1．離島へき地市町村対象のアンケート調査（案）について

・目 的：離島へき地市町村の事業に関する課題や県等に対する要望を明らかにし、今後の市町村支援に活かす。

・対 象：地区医師会に在宅医療・介護連携推進事業を委託していない諸町村とする。

・内 容：前回平成28年度実施の意見聴取項目を参考にする。

・アンケート内容（案）：総合評価（県＞国：毎年報告されている）：4テーマ分類にする、事業課題は凡そ把握されている

①取り組めていること:それは何故か？良いところ、強み
②取り組めていないこと:それは何故か？問題点、弱み
③県から受けたい支援は何か？
④どのような支援があると、実施できると考えるか？
例:オンライン環境の整備、専門職の派遣、離島ならではの事例に対するアドバイス

2. 多職種・専門職研修会について報告を受け意見交換を行いました。
・内容や時期は、離島へき地アンケートの内容を活かしたものにするか？
・「心得」を元にした研修会等（8月26日、中部地区医師会主催）
・理事会でテーマ、講師、方法について継続協議する

□慢性期医療機関入院調整班（慢入班）について報告を受けました。
「施設クラスターなどで、重点医療機関で治療後のアフターコロナの方が、すぐ元の施設に戻れない」等の時は、通常の地域連携での転院調整を行っていると思います。もし通常の地域連携でも転院調整が不調の場合は、慢入班でも転院先調整をお手伝いしています。コーディネーターシフト表に沿って、担当者へご連絡ください

□次期衆議院選挙に関する公開質問（案）について報告を受け意見交換を行いました。

※次回理事会　2021 年 09 月 21 日（火）19:00～　@沖縄県総合福祉センター
司会:樋口　書記:高江洲　連絡:長

議事録署名人　新垣　哲治

☆ 編 集 後 記 ☆

早朝、私の自宅の近所ではユニフォーム姿の青年達が道端のゴミを拾って歩く姿がみられます。週末、雨・風かまわず練習に打ち込む姿、キビキビとした一糸乱れぬ掛け声をあげる野球部員の姿があります。県内でも常に上位を争う強豪校ですが、こういった普段の行動や練習風景からプレー以外でも大事な部分を学んでいるのだなーと感じさせられます。

今年は夏の甲子園が開催されました。彼らの努力が目に浮かぶからでしょうか、なぜだか県内の高校だけに限らず、勝利した球児・悔し涙の球児などすべての姿に感動を覚えてしまいます。日々努力を重ね、目標に向かって突き進む高校球児が輝ける場所があるというのはとても素晴らしいものですね。

MSW 協会　公式 LINE　加入のご案内

https://www.msw-oaswhs.jp/

～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
Okinawa Association of Social Workers in Health Services